

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成24年3月19日（月）～3月25日（日）〔平成24年第12週〕の感染症発生状況

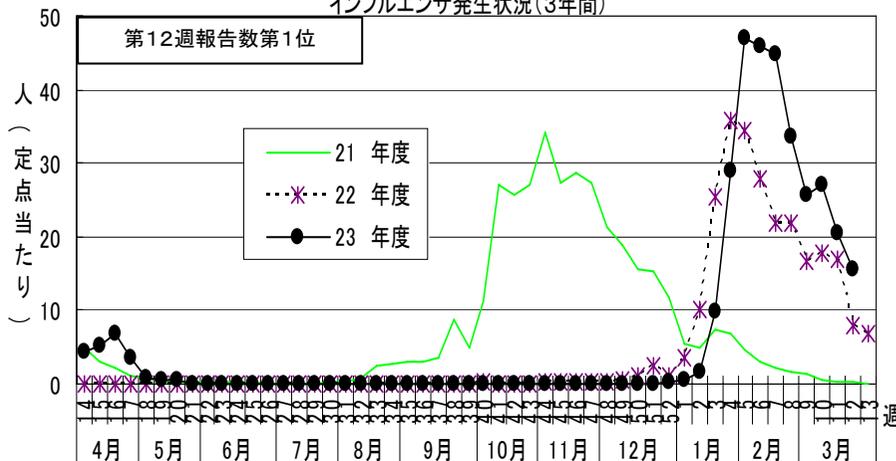
第12週で患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

インフルエンザは定点当たり15.58人と前週（20.39）より患者報告数は減少していますが、過去10年間の同時期と比較すると、平成19年に次いで2番目に多い報告数となっていますので、引き続き予防対策が重要です。

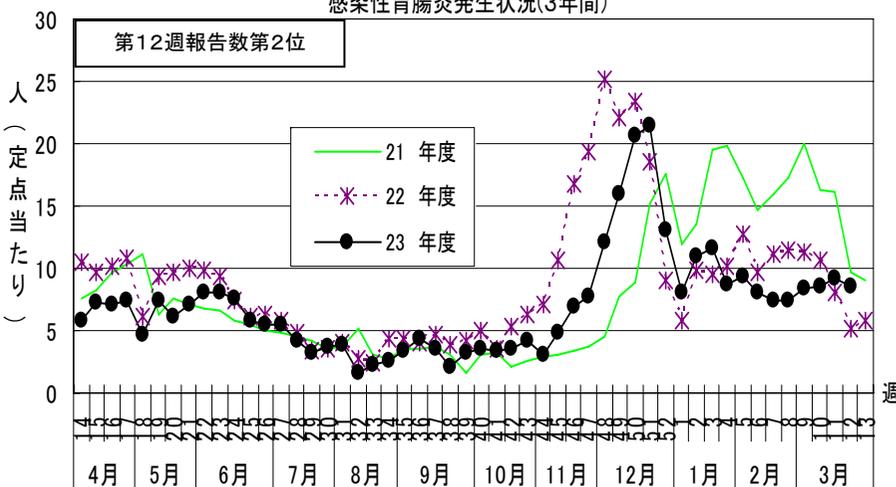
感染性胃腸炎は定点当たり8.48人と前週（9.12）より患者報告数はやや減少しており、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

現在、学校等が春休みのため、多くの感染症の報告数が減少傾向にありますが、4月以降は新たな集団生活が始まりますので、感染予防対策等の徹底が必要です。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



健康管理に気をつけて 元気に新しい年度を過ごしましょう

インフルエンザを含めた多くの感染症について、医療機関からの報告数は減少傾向にありますが、学校等の春休みが終わり、新年度の集団生活が始まると、感染症にかかる機会が増加します。

感染症を防ぐには、4月からの新しいスタートにあたり、必要な予防接種をすませるとともに、次に示す感染予防策を身につけることが大切です。



感染症にかからないために
感染予防策を行いましょう